

2023年度 会員拡大開発委員会

委員長予定者 栗原 隆明

1. 運営方針

「ダイバーシティ」という言葉が注目されはじめてから久しく、2000年代以降、日本において「ダイバーシティ経営」という企業戦略としても裾野が広がっています。市場の不確実性の増大、経済のグローバル化による競争激化によって変化のスピードが加速している中で、持続的な競争優位性を得るため、戦略として取り入れている企業が増えています。実際に、内閣府の調査では、多様な人材と収益率との間には正の相関性が確認されています。多様な人材からもたらされる多様な知識、経験、価値観を持ち寄ることで得られる新たな発想は新たな価値を生み出し社会に変革をもたらすものと考えます。

熊谷青年会議所も同じく、「地域を良くしたい」という思いを持つ知識、経験、価値観をもった青年経済人が集う組織であり、青年経済人に対して成長の機会を提供する事で能力を高め、高められた力を用いて地域の課題を解決するため、運動を構築し発信できる組織です。青年経済人は、多くの成長の機会から得られた力を最大化させることで、周囲からの信頼を獲得し自企業や地域でのリーダー的存在となり、延いては熊谷を担う人材となると考えます。また、同じ思いを貫く中で会員同士のつながりは、より強固なものとなり、今後の熊谷にとって大きな力になります。だからこそ、一人でも多くの会員が必要です。同じ思いのもと、多様な知識、経験を持った会員と意見を交わすことは新たな価値を生み出し、異なる価値観に接することは成長の機会につながります。様々な個性を持った会員の結集された力は、より大きな運動につながり、より大きく地域へ波及させ、熊谷青年会議所を熊谷という地域を担う組織にするものと確信します。

そこで、2023年度会員拡大開発委員会では「個性が織りなす未来の熊谷の創出」をテーマに一人でも多くの会員の拡大を推進してまいります。また、会員には例会や事業を実践の場とした、熊谷を担う人材に向けた青年経済人としての必要なスキルが学べる研修を開催します。青年会議所は、運動や活動を通じて人間的成長が期待され、青年経済人としての能力を高めるためのスキルを学び、成長することができる場があります。また、それらのスキルは青年経済人として、また社業の発展を目指す上でも必須であります。新たな会員には、自身の仕事・社業の発展につながるスキルを学び、成長できる例会に参加してもらい、入会することで得られるメリットを十分に感じていただくことで会員拡大の推進を行い、熊谷を担う青年経済人としての力を高め参ります。

会員拡大開発を通じて、多様な背景を持つ会員とともに新たな価値を生み出し、成長の機会から得られた力を結集することで熊谷という地域を担う組織となり、全ての人が快適で安心な生活ができる、地域内外から認められる魅力あるまち熊谷を目指してまいります。

2. 事業計画

- (1) 全会員を巻き込んだ会員拡大の推進
- (2) 外部の専門家の意見を取り入れたスキルを習得できる例会の実施
- (3) 2023年度最終例会卒業式の実施